

まるこやま

第65号

令和3年1月20日

〒699-1251
雲南市大東町大東2419-1
大東交流センター
TEL(0854)43-2130



E-mail:daito-c@hotmail.yoitoko.jp
http://user.yoitoko.jp/daito-c/

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会

光舞ほたる — 結成5周年 —



「コロナ禍で練習や
発表の機会を失ってしま
いましたが、いつかコロナが
収束したら、私たちのいつもの
元気をお届けします。
それまで、この難局をみんな
で乗り越えましょう！」
(代表 福間久仁子)

これまでに発表した8演目を収録
(令和2年12月6日 大東公園市民体育館)

謹んで新春のお慶びを申し上げます

新年を迎え、本紙がより親しみやすく身近な紙面になるよう努めてまいりますのでどうぞよろしく願いいたします。

私たち市民の代表として議会等で日々ご尽力いただいています大東地区出身の議員様から次のとおり新年のごあいさつメッセージをいただきました。



島根県議会議員
高橋雅彦

明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナの発生で、多くの行事が中止や延期となりました。大東地区自治振興協議会の皆様方には、コロナ禍で活動が制限される中、地域課題に知恵と汗を出し取り組まれたことに深く敬意を表します。

島根県では、コロナ対策として医療体制の充実、事業者への金融対策、経済活性化のための各種キャンペーンの実施、コロナ関係従事者への特別慰労金給付など、執行部と議員が協力しながら進めているところです。期待されているワクチン接種が世界的に行われるようになりました。島根県ではいつ接種できるのかわかりませんが、その間はしっかりと県民生活を守るため対策を講じてまいります。

地域活動の原点はコミュニケーションと考えており、県にはネット会議の普及と環境づくりを要望しています。高齢者が高齢者を守る地域ですので、非接触型の活動も考えて行かなければなりません。厳しい環境ではありますが、大東地区自治振興協議会の皆様には引き続き地域住民のために頑張ってくださいとお願いいたします。



雲南市議会議員
鶴原能也

明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、皆様方のご多幸と一層のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年11月の市議会議員選挙では皆様に温かいご支援を賜り誠にありがとうございました、心から感謝を申し上げます。

選挙遊説中、昨年ご主人を亡くされたという一人暮らしの80代の奥さんが涙ながらに語られる身の上話に、しばらくその場を離れることができませんでした。このような皆様との出会いを宝物とし、選挙期間中申し上げました「現場第一主義！」を肝に銘じて、皆さんからいただきました「子どもたちの安全・安心な通学路の確保」、「バス停に待合椅子を」、「新規就農者の夢の実現」、「農業はイノシシに潰される」等々、切実な問題の解決のため頑張りますので、叱咤、激励の程よろしく申し上げます。

最後に私にとりまして、昨年は「雲南に新しい風を！」の実現に向け「猪突猛進」の年でした。今年は、丑年です。地に足を着け、周りを見る余裕を持って、ゆっくり一歩ずつ歩んで行きたいと思っておりますので、なお一層のご支援を賜りますようお願いいたします。



雲南市議会議員
安田栄太

明けましておめでとうございます。

皆様にはよき新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年11月の選挙により市議会議員となりました安田栄太と申します。令和という年号もゆっくり歩みを進め3年目へと踏み出しました。若輩者ではありますが、私も牛歩のようにゆっくり、しかし着実に一步を踏み出したいと考えております。

昨年は、2月に発生した新型コロナウイルスにより、生活全般にわたり自粛を余儀なくされ、経済のダメージもかなりありました。国民の不安が募っていった1年となりました。

それでも暮れにはワクチンができあがり、今年の春に日本にも入って来るようです。ワクチン接種によって新型コロナウイルスが終息に向かい、経済活動が再開してくれることを願うと同時に、アフターコロナ対策もしっかりとやっておかなければならないと考えております。

今までになく不安定なスタートとなりました令和3年ですが、幸せをギュウッ(牛)と詰め込んだ1年になるよう頑張りますのでよろしく願いいたします。

今年のめあて

丑年を迎えて

西本町 木村丕左子

私にとっては長い人生を過ごしてきたと思ってきましたが、今や百歳の時代とかが！

大東という地で働かせていただき、楽しく生活を送ることができたことに感謝いたします。退職してからは町民として少しでも恩返しをしたいと思い、明寿会に参加させていただきました。今までにお会いした方々とは違って色々なお話を聞き「井の中の蛙」だったことを悟り、4年間色々なことを学びました。また大東グラウンドゴルフ協会に入会し競技をしながら足を鍛えることに専念しましたが、近年は足も弱り会員の方々のあたたかいサポートでのプレーに感謝しています。

4月からはミニディサービスに通い、そこには百歳近い方もいらして、とても元気で多彩な才能でハーモニカ、工作、絵、歌等披露しておられ、常々挑戦する意欲に感心しています。毎週多様な企画があり、手先を使った物づくり、季節の行事、脳トレ、軽い運動もできて楽しんでいます。これからもできることに挑戦して、96才の丑年を迎えたいものです。



まなびの泉

新年の決意



大東小学校 6年1組

川本 ときなり 時生



ぼくは、周りの人から注意されたら、素直に直せるようになりたいです。理由は、母に同じことを何回も言われることが多いからです。今までは、つい言い返してしまうこともあったけど、自分を成長させるためにも、一気に直すことは無理だけど、言われたことを一つずつ直していけるように頑張りたいです。

大東小学校 6年2組

山田 こはる 小遥



今年は中学校に向けて、しっかりと自覚をもち、生活も勉強も今まで以上にがんばっていきたいです。コロナウイルスがはやっているけれど、こんなときこそ、お世話になっている方がいるので、感謝の気持ちを忘れずにすごしていきたいです。

認証55周年を迎えて

大東ライオンズクラブ会長 神庭 健治

新年あけましておめでとうございます。

大東ライオンズクラブでは今年「認証55周年」を迎え、その記念事業として昨年末に前倒しして福祉施設、学校・保育施設、各交流センター等計40数施設に「新型コロナウイルス感染対策衛生用品」を贈らせていただきました。感染症の終息を願い、皆さんが安心して日々の生活が送れるための一助となれば幸いです。

ライオンズクラブはおよそ100年前にアメリカで最初に結成された世界最大級の奉仕団体です。大東ライオンズクラブは1966年2月28日に認証され、42名でスタートしました。高度経済成長期の頃は50人以上の会員でしたが、現在は24名に減少しています。

私たちの活動は、災害支援活動や検眼献血などに援助金を贈るとともに、丸子山清掃等各地区の奉仕活動への参加や幼稚園から中学校までの図書や活動支援、スポーツ少年団、ボーイスカウトへの育成支援、時々幼稚園保育園の草刈りボランティア、大東七夕祭の仮設便所設置など行っています。以前には交通安全活動も盛んだったようです。

ここで皆さんにお願いですが、現状の会員数では十分な奉仕活動が出来ません。人口比率から見ると、大東は他の地区に比べライオンズ会員数が少ないのです。気の優しい和やかな組織です。多少の経済的・時間的余裕も必要ですが、どうぞ会員として一緒に参加してください。紹介していただくだけでも結構です。よろしくお祈りします。

最後にライオンズクラブの合言葉ともいえるクラブのモットーを紹介して終わります。

「We Serve! (私たちは奉仕する)」



献血運動厚生労働大臣感謝状



第36回大東ライオンズクラブ旗
争奪スポーツ少年団交流野球大会

福祉委員会
だより

配食サービスにより 健康で自立した生活が送れるよう



去る12月9日、地域自主組織福祉関係職員対象に「見守りに資する配食サービス事業から学び合う会議」と題する会議が開催されました。

市社協の方から基調説明の後、我が大東地区自治振興協議会 石川辰子推進員が当地区の配食サービス事業についての実践発表を行いましたので、一部抜粋してご紹介します。

「配食サービスは、一人暮らし高齢者世帯が増え、食事づくりや買い物等が困難になった方が増えてきていることや、地域とのつながりが希薄気味になってきたことから始まった。離れて暮らしておられる家族の方も食の面で安心されていること。少なからず、見守りにもつながっていること。そして、何よりも弁当が届くのを待っておられ、喜んで受け取っていただくことが、配達をする私達にとってもうれしいことであること、等々。現在当初の1.5倍程度と徐々にご利用が増えており、今後も、配食サービスを希望される方が増えると思われるので、配食ボランティアさんを募っていく必要があることが、課題の一つである。」という内容でした。

配食サービスは、見守りが必要な概ね65歳以上の高齢者世帯等を対象としており、1食540円の利用料を要します。お問い合わせは、市社協（電話：43-5610）、自治振興協議会（電話：43-2130）までお願いします。



大東明寿会
だより

ころばん先の転倒予防

大東明寿会では、コロナ禍で今年度の事業が進まない中、11月27日に25名の参加を得て女性部研修会を開催しました。

「身体教育医学研究所うんなん」の運動指導士 吾郷千歳さんを講師に招き、「転倒予防のお話し」と題した話を聴き、その後転ばないからだづくりのための運動を、実際に体を動かしながら教わりました。

雲南広域連合の調査によれば、介護・介助が必要になった理由として骨折・転倒が高い割合を示しており、特に高齢者は加齢や運動不足、病気などにより転倒しやすいとのことでした。

また、世界25か国 23,407名 平均年齢76歳対象の転倒予防研究によれば、運動で2~3割転倒が減ったとの成果が報告されており、運動をすると転倒を防げるということでした。

おすすめの運動内容として、柔軟性運動(筋のばし、ストレッチング)、筋力増強運動(筋力トレーニング)、有酸素運動(ウォーキング、散歩など)、バランス運動(片脚立ち、太極拳)などを教わりました。



あいあい
募金

ご寄付に感謝致します

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。

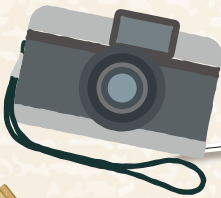
- ・大東町(北町) 坪倉 孝次 様 (香典返し)
- ・大東町(西本町) 深田 和子 様 (香典返し)
- ・大東ライオンズクラブ 様 (クラブ認証55周年記念 コロナ対策衛生用品)

大東地区振興あいあい募金運営委員会 (TEL: 43-2130)

■令和2年12月末現在の人口・世帯数 ()内は対前々月比

項目	雲南市	大東町	大東地区
総人口	37,102人 (-292人)	11,818人 (-97人)	3,477人 (-16人)
男性	17,889人 (-130人)	5,751人 (-44人)	1,673人 (-5人)
女性	19,213人 (-162人)	6,067人 (-53人)	1,804人 (-11人)
世帯数	13,711世帯 (-35世帯)	4,156世帯 (-10世帯)	1,260世帯 (±0世帯)
高齢化率	39.38% (+0.22%)	39.19% (+0.18%)	—

資料：雲南市HPより



パナリ 掲示板

Photo bulletin board



大東保育園クリスマス会 (12/22)
鈴の根とともに125人分のプレゼントを袋に担いだサンタクロースが保育園にやってきて、園児たちは大喜びでした。また、それぞれのクラスでダンスなどを楽しみました。



落語を楽しむ高齢者交流会 (12/21)
地区福祉員会と地区女性振興会合同開催の「高齢者交流会」に42名参加いただきました。松江市の楽生亭 楽笑さん、笑皆亭 笑梅さんの落語に会場内大笑いとなり、コロナウイルスも吹っ飛んでしまいました。



北町北寿会が県老人クラブ連合会長表彰受賞
七夕西瓜提灯づくり、子どもたちとの巻巻づくりや明寿会主催のレクリエーション大会、ペタンク大会など、会員55名の積極的な参加で和気あいあいとした活動が評価されました。



半世紀ぶりの街中除雪作業 (12/31)
支障が出るためこれまで除雪路線から外してもらっていた街中幹線道路でしたが、関係自治会との協議に基づき除雪車による除雪作業が行われました。作業は順調に行われ、その後の玄関先の雪かきも隣近所協力して行われました。また、1月10日にも40センチ以上の積雪があり12日に2回目の除雪作業がありました。



七草寒波到来 (1/9)
1月7日から10日にかけて数年に一度の強烈寒波に見舞われ、地区内でも水道管やボイラーのトラブル、車のスリップ事故などがありました。9日には最高気温が0℃を下回る厳しい寒さとなり、軒先では1メートルを超えるつららが、点々と見うけられました。



常勤・非常勤 職員を募集します!



大東地区自治振興協議会

- ◆ 募集人数：常勤職員（1名）非常勤職員（7名）
- ◆ 業務内容：事務局業務および地区活動推進、生涯学習推進、地区福祉推進、集落支援、食の自立支援
- ◆ 雇用期間：2021年4月1日～2023年3月31日
- ◆ 提出書類：履歴書、応募動機（500字以内）
- ◆ 申込締切：2021年2月19日（金）
- ◆ 選考方法：書類選考後、面接（平成2021年2月28日：日）により採用者を決定
- ◆ その他：勤務条件等の詳細は、問い合わせください。
- ◆ 問合せ先：大東町大東2419-1 大東地域交流センター内
大東地区自治振興協議会 電話・FAX 43-2130

2021年度 『まちづくり活動助成事業』 の募集!!

2010年に開設した「大東地区振興あいあい募金」にこれまでたくさんのご寄付をいただきました。

この寄付金を活用した「まちづくり活動助成事業」の助成金申請受付をします。

対象：10名以上の会員を有する 大東地区内の活動団体

事業：地域振興に資する事業

金額：5万円以内の助成金

受付：2021年2月16日～2021年4月23日

申込：大東交流センター内
大東地区振興あいあい募金運営委員会
(TEL:43-2130)



横浜トリビア

神奈川県横浜市 青戸 実
(大東町東町出身 65歳)

『泰平の 眠りを覚ます 上喜撰 たった四杯で 夜も寝られず』私の同年輩には、この狂歌をご存知の方も多いと思います。ペリー来航時の江戸幕府の動揺ぶりを皮肉ったもの、と子どもの頃に教わりました。このペリー来航により海外に開港した横浜ですが、当時幕府は東海道の要衝地であった神奈川宿周辺（神奈川湊）の開放を避け、半農半漁の寒村だった横浜村に外国人居留地（現在のJR関内駅周辺）を設けたことから、以降150年にわたり横浜市は繁栄を遂げ、今や東京都に次ぐ人口を擁する大都市にまで発展しました。

『♪汽笛一声新橋を…』で始まる鉄道唱歌（東海道編）の5番に「横浜ステーション」の歌詞が出て来ますが、これは私の同年輩でも、あるいは生粋の横浜育ちでも、ご存知の方は少ないのではないのでしょうか。日本で最初に鉄道が開通したのは新橋～横浜間ですが、当時の「横浜ステーション」とは現在の横浜駅ではなく桜木町駅のことです。桜木町駅には「鉄道創業の地」の記念碑も建っています。

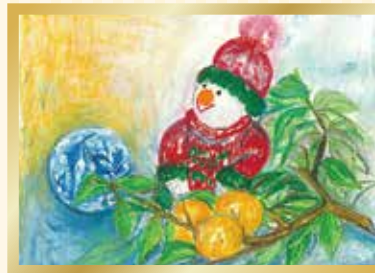
因みに、私が住んでいるのは横浜市保土ヶ谷区常盤台と云う地域ですが、保土ヶ谷も東海道の宿場だった所です。しかし、我が家は保土ヶ谷駅からは程遠く、甚だ辺鄙な丘陵地にあります。この辺鄙な地（住民の皆様、ごめんなさい）には横浜国大の本部キャンパスが丘陵一帯に広がり、我が家はその直ぐ脇に面しています。近所には、日本各地や外国から学びに来た学生さんも大勢住んでいます。

とりとめの無い話を書き連ねてしまいましたが、我が懐かしのふるさと大東に次ぐ‘第二のふるさと’横浜の一端なりと感じていただけたなら幸いです。



横浜国大～キャンパス中央から正門へ続く通り～

紙上作品展



大東絵画教室（生涯学習運営委員会）
11月作品（クレパス画）
中町 石川富美子さん



全島根画作品展 特選
「お花のゆうえんち」
大東小1年 森山蒼空さん



税に関する絵はがきコンクール
県租税教育推進協議会連合会代表幹事賞
大東小6年 高田耶弥さん



雲南地区納税貯蓄組合連合会
中学生の税についての習字 金賞
大東中 石川達也さん

昭和57年に「くにびき国体」が開催され、大東町では「バドミントン」と「クレール射撃」が行われた。新しい体育館も建設され、民泊家庭も整い、全国から多くの選手団が集結し、大東町に活気がみなぎった。

そして国体を終えた翌昭和58年（1983）、血気盛んな商工会青年部と農青連の若者たちがそこそこで語り合う中、「国体で盛り上がった町の勢いと団結の力を持ち続けよう」と叫んだ。さらに「町の発展に繋がる全町的な行事を実行しよう」とまとめた。

そして「大東町ふるさと振興事業実行委員会」という組織を立ち上げ、一大事業の名称を募集し、応募の中から大字北村の新田儀一郎さん（当時80歳）の「大東よいとこ祭」を選んだ。さらに、当時の町の人口からヒントを得て「みんなが主役17,000人の愛」というキャッチフレーズも掲げた。ポスターも作り「大東よいとこ祭」の文字は下佐世の周藤寛洲さんに依頼した。それらが「大東よいとこ祭」の原点であった。

第1回目は、昭和58年11月5～6日の2日間、警察音楽隊を先頭に大会役員や踊りの列が大東駅から連担地を通過して町民体育館までパレードをし、社会福祉大会、文化展、スポーツ大会、農協・商工業特産市、文化講演会等を開催した。

文化講演会の講師には「ミヤコ蝶々さん」をお願いした。野球場でのイベントには当時の阪急ブレーブスの福本豊選手を招き、彼の果敢なプレーを見学した。



第4回大東よいとこ祭り踊りパレード

翌年第2回の講師は「大村崑さん」、続く第3回の講師は、雑誌「酒」の編集長の「佐々木久子さん」をお願いした。

私は、当時町役場の商工観光係だったので、第3回まで事務局を担当した。

なお、その後「町民音頭」が募集され、多くの応募の中から清田の川上祥吉さん作詞の「大東よいとこ音頭」が採用され、池田八声先生に作曲していただいた。そして、駅前足立とも子さんによって「大東よいとこ踊り」の振り付けもなされ、今日に至っている。

今回も「よいとこ祭」が行われていれば「38回目」である。実に38年もの昔話です。若い勇者たちの活躍が思い出されます。発案時に燃えて語り合った若者は、商工会青年部と農協青年連盟の皆さんであり、そのバックに商工会と農協がありました。

にがおえで
こんにちわ!

丑年によせて



(絵:大東町東町北 細田 滋)

今年が丑年、丑と云う字には「紐」や「結ぶ」などの意味があり、日本十二支学会の資料によりますと、「寒冷の土中で草木の根が紐のように結び合い、春を待ちつつ耐え忍ぶ様子を表す」とあります。後に動物の牛の意味が加えられ、一歩ずつ前に進む牛歩の歩みを反映し、丑年には「我慢」や「これから人生芽が出る」また「成長を期待する」との意味付けがされたようです。私事ですが、昨年は火災に遭い大変な年でした。その節にはたくさんの皆様方から励ましのお言葉やお見舞いを戴きありがとうございました。紙面をお借りして厚くお礼を申し上げます。今は田ん

全国肉用牛経営者会議副会長
島根県繁殖和牛経営者会議会長 中西 康一

ぼを2町歩と昨年9月に新しく建てた牛舎で和牛の親牛7頭と子牛3頭を飼っています。日本中「コロナ禍」の影響で畜産業界も大変厳しい状況ですが、幸い私の牛舎では今年2月に出産予定の牛から順次子牛が生まれる予定です。また、今年楽しみにしていることは、新しい家の完成と県種畜センターから依頼されて取り組んでいる種牛を育てることです。全国トップクラスの種牛の精液を取り寄せてもらい、我家の母牛に受精させました。母牛は県内で5本の指に入る高い評価を受けていて、今年の7月には出産予定です。オスが生まれれば嬉しいですが……。これから先何年百姓が続けられるか分かりませんが、地域の皆様方に支えていただきながらボケ防止のため、老体に鞭打ちつつ、牛歩の歩みで「ガンバロウ」と思う今日この頃です。



この人に聞く

やまもと けいこ
山本 恵子さん
(中町自治会)

6才から茶道を13才から華道のお稽古に励むなど18歳まで大東で過ごした後、京都の大学を卒業し出版社に勤務、阪神淡路大震災を体験、40才の頃縁あってフランスへ渡り日本語を教えることになる。そんな興に富んだ体験を楽しく語っていただきました。



Q フランスに渡った経緯は？

京都女子大学卒業後、1年間非正規で仕事をしながら茶道・華道に精進しました。23才で出版社に就職、30才で退職し、ベルギーに短期留学。

31才で帰国し、学生時代に取得した国語教員資格を活かし、大阪・神戸の日本語学校で外国人（主に中国人）に日本語を教えていました。

そこで感じたのは、学ぶ姿勢、仕事に対するひたむきな姿であり、日本人にはないハングリー精神でした。

転機になったのは1995年、38才の時発生した阪神淡路大震災です。勤務先も私の住まいも被災、学校も被災し閉鎖、教え子が5人も亡くなり大変ショックを受けました。生徒たちは母国へ帰国、私も頑張りましたが身体的・精神的に疲労困憊し一時入院、仕事仕事の毎日を見つめ直し、心を癒そうと休暇を取ることにしました。

多くの社会的拘束ある日本では長期休暇も取り難くキャリアアップの勉強もできないと40才で退職しフランス（カンパール市のビジネススクール）へ日本語教育ボランティア留学しました。そこでフランス人学生に日本語教育を行いました。

当初8か月の滞在予定が来年も再来年もということになり、3年後には正規職員として採用され、日本セクションの責任者として定年まで勤めました。

住んでいたブルターニュ地方は特殊な文化のある地域でしたので大変勉強になり楽しかったですね。

フランスは、食文化も豊かで日本の大学でフランス語を学んだことが活かせる国で本当に良かったと思うし、22年間の生活に全く悔いはありません。

また、日本の伝統文化（お茶・お花、踊り）を身に付けていたことが大変役立ちました。和服を着てのデモンストレーション等の依頼も多くありました。

これが話題となり地元メディアから取材を受け報道されたこともありました。

生活にも慣れてくると通訳も依頼されるようになったり、多くのことを学び大変ありがたいことでした。



Q フランスの感想は？

極楽でしたね！何も云うことがない生活でした。

まず自由なこと、労働者の権利が保障されており、周囲に気を遣わずに長期の休みが取れる。休みは、全ての労働者の権利であるという全員の共通認識があります。有給休暇も5W/年が義務化されています。

フランスでは、知らないこと、分からないこと、歴史、文化、宗教等新しい発見が沢山ありました。異国のことを勉強することで日本の魅力も沢山発見できてありがたいと思っています。日本庭園もその一つです。

Q 日本との違いは？

仕事よりも自分の家庭・家族・友達をととても大切にすることでしょうか。休日は、大家族で食事をしたり、散歩したり、買い物をしたり、賑やかに交流の場を広げます。友人親戚も都合つけて会うことを楽しみにやってくる。これも日本と違うところでしょうか。土曜日の朝は、マルシェ（市場）での買い物が楽しみでしたね。

（また、授業中は一人も居眠りする生徒はいません。先生に失礼だからといひます。これには感心しました。）

Q 今後の夢は？

63才で定年退職し帰国した今、求められれば、中高生・子どもたちに外国語や日本の伝統文化（お茶・お花・書道）を教えられればうれしいです。

22年に亘るフランス生活も「極楽でした。」と楽しそうに微笑みます。「日本の皆さんは働き過ぎかな？もっと自分の時間を大切にしたい。日本は充分豊かに暮らせる国ですよ！」とも、個人個人が自分の時間を豊かにできれば、それが必ず仕事に還元される。仕事＝人生ではない。そんな世の中になるといいな。

話を伺いながらとても心が癒され穏やかな気持ちになりましたよ。近い将来、町内でもフランス語会話のできる子どもたちが現れるかも……。楽しみです。

(記、西村 武)